

## 基本計画部会における次期基本計画に係る審議の整理メモ

審議テーマ	現行基本計画の該当項目
エネルギーに関する統計の体系的整備	<p>① エネルギー消費統計については、総合エネルギー統計への組込みに向けて、これまで行ってきた検討により明らかとなった問題点、課題等の解決に取り組むとともに、引き続きデータの精緻化を図る。(資源エネルギー庁、平成26年度から実施する)</p> <p>② 上記の検討を踏まえ、エネルギーに関する統計について体系的な整備を行い、基幹統計の範囲について検討を行う。(資源エネルギー庁、平成29年度末までに結論を得る)</p>
これまでの統計委員会の意見	<p>&lt;諮問第77号の答申 平成27年3月23日&gt; (今後の課題)</p> <p>○ 第Ⅱ期基本計画において、経済産業省は、エネルギーに関する統計について体系的な整備を行い、基幹統計の範囲について検討し、平成29年度末までに結論を得ることが求められている。同省は、有識者等から構成された検討会等において所要の検討を行っているところであり、引き続き十分な検討を行った上で、必要に応じて経済産業省特定業種石油等消費統計調査の調査計画の見直しを行うこと。</p> <p>&lt;経済産業省特定業種石油等消費統計調査の変更に係る第47回産業統計部会での発言を踏まえたメモ&gt;</p> <p>○ エネルギー消費統計は、全体の業種をカバーしているため、今の特定業種の石油等消費動態統計以上に、エネルギー統計としては非常に重要な位置付けがある割には、一般統計だということは、非常に不思議な気がするという指摘が、部会審議においてなされた。</p> <p>当該指摘に対し、2006年に本統計が承認を受けて開始した際には、経年変化の安定度を含めたデータの精緻化が十分に確保されていると判断した段階で、改めて整理することとなっていた旨の応答がなされている。</p>
各種研究会等での指摘	<p>&lt;基幹統計の範囲に関する検討に際しての産業統計部会委員の発言&gt;</p> <p>一般統計と基幹統計の線引きは明確には存在しないと考えている。現在の基幹統計の中でもなぜ基幹統計に含まれているのか疑問のある統計もある。特に統一的な観点から基幹統計と一般統計が分かれているのではなく、戦後すぐの指定統計がほぼそのまま基幹統計として引き継がれているという背景があると聞いている。一方、エネルギー消費統計が一般統計とされる点には疑義が呈されている。</p>
担当府省の取組状況の概要	<p>① エネルギー消費統計について、総合エネルギー統計への組込みを実施しつつ、課題である時系列安定化などに向けて、委託研究により得られた方策を採用し、平成27年度調査(28年4月から6月にかけて実施し公表)において、(i)標本を半数ずつ入れ替えるローテーション・サンプリングの導入、(ii)差推定の導入、(iii)時系列での外れ値排除処理の導入などを実施した。また、課題等の解決やデータの精緻化に向けて、拡大推計の見直しなどを実施したところであり、その効果の持続性等について今後数年間かけて検証する準備をしているところ。</p> <p>② エネルギーに関する統計の体系的な整備として、資源エネルギー庁にエネルギーに関する統計を集約させるために、経済産業省特定業種石</p>

	<p>油等消費統計調査の所管部署を調査統計部から資源エネルギー庁に変更する手続きを平成26年度に実施し、平成28年1月から実際に調査を開始した。</p> <p>更に、エネルギー消費統計については、基幹統計化の検討が求められていることから、基幹統計化の前提となる経年変化の安定度を含めたデータの精緻化が十分であるかを判断するために、これまで実施した取組の効果の持続性等の検証が必要となる。こうしてエネルギー消費統計が基幹統計に足る状況であるかした上で、平成34年度末までに結論を得る予定。</p>
<p><b>次期基本計画における取扱い及び基本的な考え方(案)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ①については、時系列安定化のため平成27年度調査で実施したローテーション・サンプリングの導入等各種方策、また、データの精緻化のため実施した拡大推計の見直し等を実施していることは評価できるものの、これらの効果について、持続性等の観点から引き続き検証を行うなどの取組が必要ではないか。</li> <li>○ ②については、これまでのエネルギー消費統計の検討状況を踏まえ、エネルギー消費統計の基幹統計化の検討も含め、産業・業務部門のエネルギー消費に関する統計の体系的整備に向け、更なる取組が必要ではないか。</li> </ul> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資源エネルギー庁は、エネルギー消費統計について、時系列安定化やデータの精緻化のための各種見直しの効果の持続性等の検証を行うとともに、基幹統計化について平成34年度までに結論を得るなど、産業・業務部門のエネルギー消費に関する統計の体系的な整備を図る。</li> </ul>
<p><b>備考(留意点等)</b></p>	